

いとだ

いとだの自然

豊かに、
清らかに



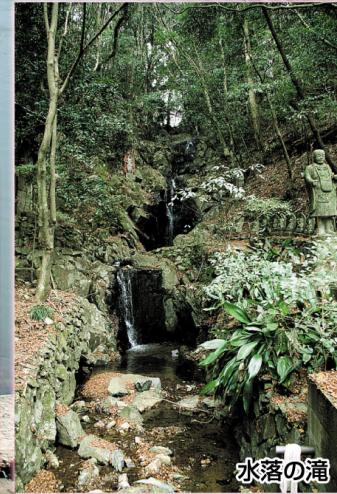
泌泉公園



金山アジサイ園



金山サクラ園



水落の滝



中元寺川

目次

- | | |
|---------|---------------------|
| p.02~03 | まちのトピックス |
| p.04~05 | 令和2年度 当初予算 |
| p.06~07 | 糸田町部落差別の解消の推進に関する条例 |
| p.08 | 施政方針 |
| p.09 | 住宅の新築・改修などの支援 |
| p.16 | 糸田アラカルト |
| p.18 | 政策コンテスト |

3月
26日

交通安全を願い

● 黄色い帽子贈呈 ●



教育長室内で、下田川ライオンズクラブから小学校に黄色い帽子が贈呈されました。

交通事故のない登下校のために、目立つ黄色の帽子を着用してほしいという想いから、新1年生82人分の黄色い帽子が贈られました。この帽子は子どもたちの交通安全のために役立てられています。

4月
1日

防災活動の向上を目指して

● 新消防団長就任式 ●

町長室内で、本町の防災活動を担う糸田町消防団の新消防団長就任式がおこなわれました。

これまで副消防団長を務めていた池田儀澄氏が、全員からの推薦で第22代糸田町消防団長に就任しました。

池田新消防団長は「糸田町のよりよい防災体制を目指して精進してまいります」と意気込みを語りました。



4月
9日

堂々とした姿勢で

● 中学校入学式 ●

中学校体育館で、入学式がおこなわれました。新型コロナウイルス感染防止のため、マスク着用と、まだ着慣れていない制服を身にまとい、式に臨んだ新1年生。

繩田哲也校長は「中学校の3年間は、子どもから大人へと心も体も大きく成長する大切な時期なので、自らをしっかり鍛え上げ、自信をもつて様々なことにチャレンジしてほしい」と83人の新1年生に思いを寄せました。

マスク越しの凛とした表情が、これからの中学校生活への意気込みを感じさせました。



4月
10日

「コロナに負けず元気に

● 小学校入学式 ●

小学校体育館で、新型コロナウイルス感染防止のため、規模縮小になりました。石堂昌彦校長は「朝ごはんを食べると、小学校に毎日元気に来れるので、続けられるように頑張ってください。また、手洗いを欠かさずして体調にも気をつけてください」と話をされました。82人の新1年生は、校長先生の話に元気よく大きな返事をさせていました。

3月
25日

功労を称え

● 行政功労表彰式 ●

町長室内で、町政の振興発展に寄与した人を表彰する行政功労表彰式がおこなわれました。前町長である佐々木淳氏を始め、本町の行政に深く携わってきた4人が功労賞を授与されました。

森下博輝町長は、今までの功労を感謝するとともに、今後の町政へもかわらぬ協力をお願いしました。

以下、功労者(敬称略)。



佐々木 淳

【功労事由】

町長の職にあって、4年以上在職した人、および町議会議員の職にあって、12年以上在職した人。

豊田 紀正

【功労事由】

監査委員の職にあって、15年以上在職した人。

立石 祐 悅

【功労事由】

行政区長の職にあって、15年以上在職した人。

佐藤 金星

【功労事由】

行政区長の職にあって、15年以上在職した人。

3月
31日

4月
1日

先生たちとの出会いと別れ

● 小中学校着任式・離任式 ●

4月1日に着任した先生と、3月31日で学校を離ることになった先生をお知らせします(敬称略)。

【小学校着任者】

石堂 昌彦(金田小から)、田代 輝浩(勾金小から)、梶原 茂美(添田小から)、西島 雅美(川崎小から)、近藤 公子(伊方小から)、高瀬 紗希(添田小から)、吉田 賢治(真木小から)、山内 葉月(採用)、風間 俊哉(再任用)



【中学校着任者】

繩田 哲也(再任用)、中川 靖(赤中から)、山邊 晃彦(赤中から)、満生 剛(赤中から)、原田 浩太朗(採用)、中野 浩平(採用)、迫間 由夏(採用)、白石 俊幸(香春中から)

【小学校離任者】

高上 克也(市場小へ)、山本 公平(伊方小へ)、薄 由美(川崎小へ)、小松 由美(伊方小へ)、富塚 由紀(市場小へ)、井上 聰子(採銅所小へ)、楠木 文太郎(福岡教育大学附属小倉小へ)、國本 裕司(今任小へ)、萩原 詩乃(退職)、風間 俊哉(定年退職)

【中学校離任者】

繩田 哲也(定年退職)、山中 江利子(方城中へ)、石井 浩二(赤中へ)、田村 拓也(大任中へ)、井上 裕太(太宰府中へ)

令和2年度 予算

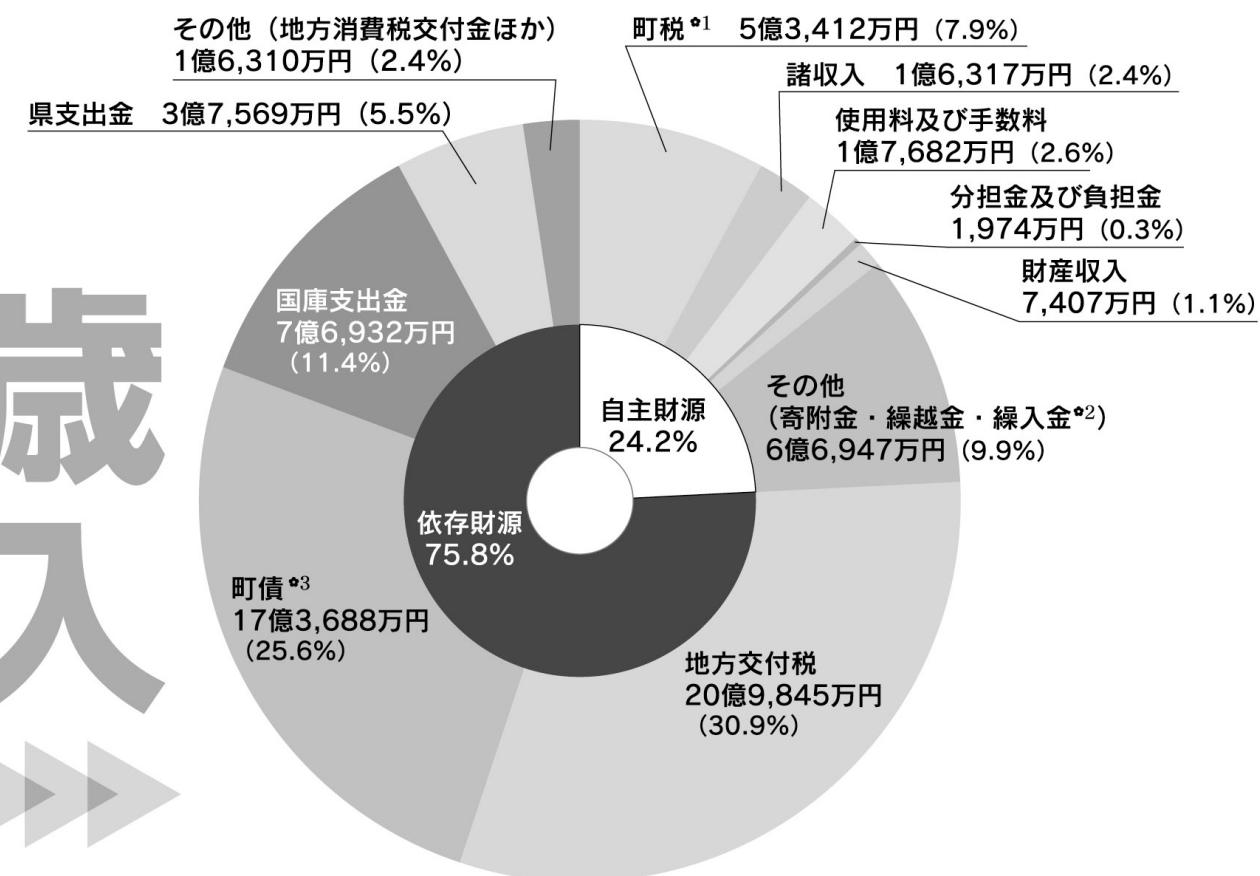
一般会計

67億8,083万円

問合せ／総務課 電話26-1232

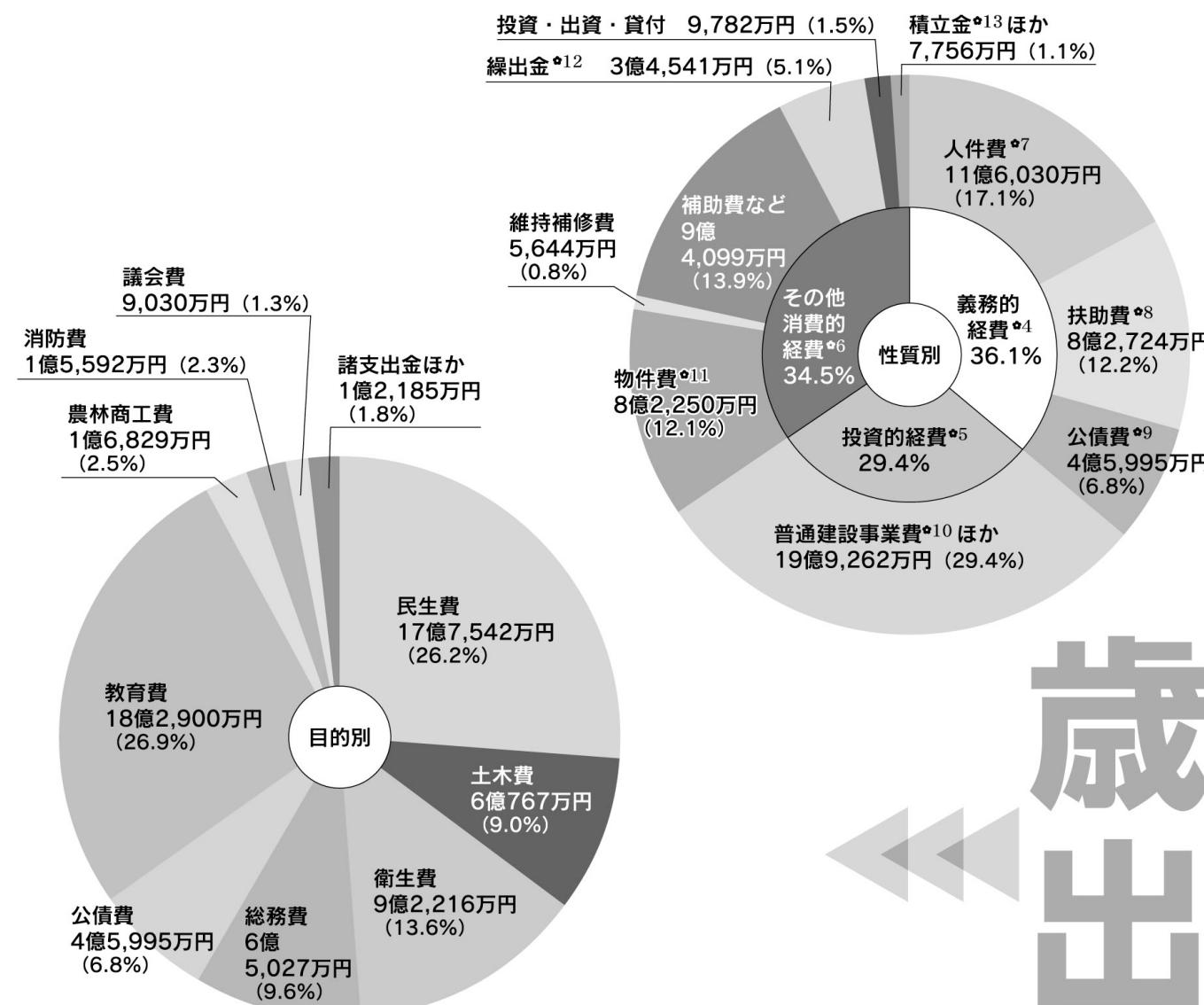
本年度の一般会計当初予算は67億8,083万円です。町民体育館等統合文化施設(仮称)建設事業費の増などにより、前年度と比較して18億8,014万円の増になりました。

前年度に引き続き本年度も財源が不足しており、基金の取り崩しによる補填をおこなつて当初予算を組むことになりました。今後も更なる行政改革を推進していくますので、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



特別会計 22億8,054万円

特別会計	予算額
国民健康保険事業勘定特別会計	9億9,259万円
後期高齢者医療特別会計	2億7,543万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	1,640万円
学校給食センター事業特別会計	8,380万円
町立緑ヶ丘病院事業特別会計	9億1,232万円



用語説明

- ① 町税 皆さんに納めていただく「町民税」「固定資産税」「軽自動車税」などの税金。
- ② 繰入金 積立金(基金)の取り崩し金や他会計から繰り入れたお金。
- ③ 町債 事業などのために借りる町の借金。
- ④ 義務的経費 支出が義務付けられている経費。
- ⑤ 投資的経費 建物や道路整備など、将来に残るものに支出する経費。
- ⑥ 消費的経費 後年度に形を残さない性質の経費。
- ⑦ 人件費 議員報酬、職員給与など。
- ⑧ 扶助費 子ども、高齢者などに対する支援のための経費。
- ⑨ 公債費 町の借金などを返還する経費。
- ⑩ 普通建設事業費 建物や道路整備などに必要とされる経費。
- ⑪ 物件費 旅費、需用費などの経費。
- ⑫ 繰出金 特別会計などへ相互に資金運用するための経費。
- ⑬ 積立金 計画的な財政運営のために積み立てる経費。

糸田町部落差別の解消の推進に関する条例

を制定しました



(目的)
第1条 この条例は、現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化的進展に伴つて部落差別に関する状況の変化が生じていることを踏まえ、全ての国民に基本的人権の享有を保障する日本国憲法及び部落差別の解消の推進に関する法律(平成28年法律第109号)の理念にのつとり、部落差別は許されないものであるとの認識の下にこれを解消することが重要な課題であることに鑑み、部落差別の解消に関し、必要な事項を定めることにより、部落差別のない糸田町を実現することを目的とする。

(基本理念)
第2条 部落差別の解消に関する施策は、全ての町民が等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるとの理念にのつとり、部落差別を解消する必要性に対する町民一人一人の理解を深めるよう努めることにより、結婚及び就職を始めとするあらゆる部落差別のな

(町の責務)
第3条 町は、前条に規定する基本理念にのつとり、国及び県との適切な役割分担を踏まえ、部落差別を解消するため、教育及び国及び県との連携を図りつつ、部落差別の解消に関する施策を講じなければならない。

(町民の役割)
第4条 町民は、相互に基本的人権を尊重するとともに、部落差別を解消するための町の施策に協力し、部落差別の解消に努めるものとする。

(相談体制の充実)
第5条 町は、国及び県との適切な役割分担を踏まえ、部落差別に関する相談に的確に応ずるための体制の充実に努めるものとする。

(教育及び啓発の充実)
第6条 町は、国及び県との適切な役割分担を踏まえ、部落差別を解消するため、教育及び啓発の充実に努めるものとする。

(推進体制の充実)
第7条 町は、部落差別の解消に関する施策を効果的に推進するため、国、県及び各種関係団体と連携を図り、推進体制の充実に努めるものとする。

(部落差別の実態に係る調査)
第8条 町は、部落差別の解消に関する施策を推進するため、国が行う部落差別の実態に係る調査に協力するとともに、必要に応じて、部落差別の解消に関する調査を行うものとする。

(委任)
第9条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、町長が別に定める。

平成28年12月に部落差別の解消推進法(部落差別の解消の推進に関する法律)が施行されました。この法律は、国が現在もなお部落差別が存在することを認め、部落差別の解消を推進し、部落差別のない社会を実現することを目的としています。

本町では、部落差別(同和問題)は決して許されないものであり、人権の大切さを正しく認識し、部落差別(同和問題)のない糸田町を実現するため、糸田町部落差別の解消の推進に関する条例を制定しました。

主な内容

その1 目的について

部落差別のない糸田町を実現することを目的としています。

その2 町の責務について

国及び県との連携を図りつつ、部落差別の解消に関する施策を講じていきます。

その3 町民の役割について

町民は、お互いの基本的人権を尊重し部落差別を解消するための町の施策に協力し、部落差別の解消に努めます。

21世紀は「人権の世紀」と言われており、様々な人権問題が取り上げられています。その人権問題の中に、部落差別(同和問題)が根強く残っています。すべての人が現状の問題を理解し、正しい知識を身に着けることが重要です。

本町から部落差別(同和問題)をはじめ、あらゆる人権問題の解決に向け、正しい知識を得るために様々な機会を設け、人権教育・啓発に努めていきます。まずは、同和問題講演会や、人権講演会、同和問題啓発強調月間などに参加し、正しい知識を学んでいきましょう。

問合せ
教務課 人権教育同和対策係
電話 26-3788



施政方針



住宅の新築・改修などの支援実施中

本町では住宅の新築・改修などに対して、支援を実施しています。
「太陽光パネルを設置したい」「孫が生まれるので家を新築して一緒に住みたい」
などを計画している人は、ぜひ活用してください。

住宅用太陽光発電システム設置補助金

①補助対象者

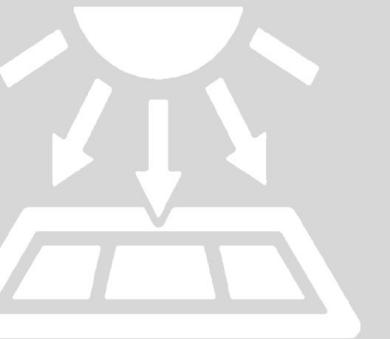
- ・町内の住宅に太陽光システムを設置する人
- ・あらかじめ太陽光システムが設置された住宅を購入する人

②補助対象の条件

- ・電力会社と電灯契約および余剰電力の受給契約を締結でき未使用の太陽電池による発電設備であること
- ・太陽電池モジュールの最大出力の合計値が10kw未満のもの

③補助金の額

- ・1kwあたり2万円(上限8万円)



三 世代同居住宅支援事業補助金

①補助対象者

- ・町内の三世代同居(親・子・孫など)を目的とした住宅の新築、改修、購入などをおこなう人

②補助対象の条件

- ・三世代同居世帯のうち、全世帯または同居予定世帯が町外から転入して1年以内であること(工事完了後転入する場合も申請可能です)
- ・5年以上継続して三世代同居を予定しており、自治会に加入していること

③補助金の額

- ・補助対象費用の半額(上限50万円)

木 造戸建て住宅耐震改修補助金

①補助対象者

- ・町内の昭和56年5月31日以前に建築または工事着工した木造戸建て住宅に居住している人

②補助対象の条件

- ・専門家による耐震診断の結果、上部構造評点が1.0未満である木造戸建て住宅について、上部構造評点が1.0以上になるよう補強する工事をおこなうこと

③補助金の額

- ・耐震改修工事費用×40%(上限60万円)

問合せ
建築課 電話26-4020



記載以外にも細かな条件などがあります。
詳しくは問合せください。

令和2年第1回糸田町議会定例会にあたり、町政の方針を述べさせていただきます。議員各位のご理解とご賛同を賜りますようお願ひ申し上げます。昨年は、福岡県では3年連続で自然災害が発生し、甚大なる被害を受けております。災害は、「とき」「ところ」「ひと」を選びません。わが糸田町としましても、「治に居て乱を忘れず」ではありませんが、糸田町としまします。施策としては、いつ起るかわからない自然災害への備えとして、役場敷地内に防災備蓄倉庫を建設しており、今年度末には完成予定となっています。また、4月から広域事業については、平成31年4月に水道事業が田川広域水道事業団に経営統合され、水道課は廃止となり、糸田町水道事務所が設置されました。今後は令和5年度の事業統合に向けた作業を進めるとともに、引き続き老朽化した水管の計画的な布設替に取り組んできています。また、新型コロナウイルスの感染が福岡県内においても確認されており、住民への注意喚起を促します。

令和2年度の糸田町一般会計予算は約67億8千万円です。これは、前年度比約38%、18億8千万円増となります。性質別予算では、投資的経費である普通建設事業費が前年度比57.6%の伸びとなっています。糸田町にとつて新しい芽吹きと繁栄の始まりとなるよう、職員一同「ワンチーム」となつて町政に取り組んでまいります。

令和元年7月に改築工事が完了した学校給食センターについては、建設事業は、令和元年度に解体工事が完了しました。令和2年度は約3億5千万円を計上し、引き続いだまわります。また、複数年計画で町営リソース・パラリンピックが開催され、多くの感動と勇気を我々に与えてくれるものと思っております。また、今年の干支は60年に1回まわってくる「庚子(かのえね)」です。この庚子には、新しい芽吹き、また、繁栄の始まりといつた意味があるそうです。この庚子の年に糸田町にとって重要な栄養バランスの摂取を始めます。

令和元年7月に改築工事が完了した学校給食センターについては、建設事業は、令和元年度に解体工事が完了しました。また、令和2年度から小学校で必修化されるプログラミング教育に必要なタブレット型のパソコン等を令和元年度に整備いたしました。このプログラミング教育とは、コンピュータープログラムを意図通りに動かす体験を通じ、幼いころからプログラムに触れ、ITに強い人材を育成することを狙いとして新たに学習要領に盛り込まれたものであります。さらに、就学援助策として、準要保護の新入学児童・生徒用品費を令和3年度入学の児童・生徒より、複数年かけて「厚生労働省の要保護基準」に引き上げてまいります。

令和2年度は、これまで実施してきた事業に対する評価検証を行ったところ、その結果を基に、市郡の小中学校の教諭をスペシャリストとしてだけではなく、ゼネラリスト(広範囲に様々な知識、技術、スキルを有する人)として、教師力の向上に努めてまいります。

令和2年度は、これまで実施してきた事業に対する評価検証を行ったところ、その結果を基に、市郡の小中学校の教諭をスペシャリストとしてだけではなく、ゼネラリスト(広範囲に様々な知識、技術、スキルを有する人)として、教師力の向上に努めてまいります。

令和2年度は、これまで実施してきた事業に対する評価検証を行ったところ、その結果を基に、市郡の小中学校の教諭をスペシャリストとしてだけではなく、ゼネラリスト(広範囲に様々な知識、技術、スキルを有する人)として、教師力の向上に努めてまいります。

令和2年度は、これまで実施してきた事業に対する評価検証を行ったところ、その結果を基に、市郡の小中学校の教諭をスペシャリストとしてだけではなく、ゼネラリスト(広範囲に様々な知識、技術、スキルを有する人)として、教師力の向上に努めてまいります。

に建設事が進められています。

宮床団地D棟(4階建て31戸)

教育の鍵は、教師力にある。グローバル化や急速な技術革新等、このような社会において教育はこれまで以上に重要になると思われます。教師力を高めるためには、行政も人材育成に責任を持つこと

が必要であるとの見地から、田川市郡の小中学校の教諭をスペシャリストとしてだけではなく、ゼネラリスト(広範囲に様々な知識、技術、スキルを有する人)として、教師力の向上に努めてまいります。

8 ITODA

本町で大切に育てられた農作物などのおいしさを多くの人に知ってもらい、本町をより広くPRするために特産品を使用したレシピを募集しました。その結果、全国から29点の募集がありました。

「見栄え」「おいしさ」「独創性」「地域性」「コメント」「バランス」「発展性」「簡便性」の8項目を書類審査・試食審査し、厳選なる審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞2点が選ばれました。今回受賞されたレシピは、筑豊フェアなどの町外のイベントなどに出店し、特産品として本町をPRしていけるよう考えております。

糸田町特産品レシピコンテスト 最優秀賞・優秀賞が決定



たぎ 泌る!!おかつにぎり

福岡県：小野 範子氏



このたびは、最優秀賞に選んで頂き、誠にありがとうございます。

「泌る!!おかつにぎり」は、糸田町特産の泌泉米とおかつ味噌を使用し、家族で手軽に楽しく作れ、世代を問わないものをイメージして考案いたしました。

私は、糸田町の「ムクデ」さんと「オカツ」さんのキャラクターが大好きなため、田植祭にも結びつく「お米」を使用したいと思いました。また、お味噌は地元産のお米と大豆を使用し、手作りの麹を使用した熟成のお味噌であり、贅沢な発酵食品を活かしたいと思いました。まずは町民の人に知って頂き、子どもたちの給食（食育の場）にメニューとして出る日が来るとうれしいなと思います！！

のり巻き2本分（一人分）

材料

鶏もも肉…25g×4切	A にんにく(すりおろし)…10g
生姜(すりおろし)…5g	一味唐子…少々
ブラックペッパー…少々	パプリカ(粉末)…少々
白だし…小さじ1	揚げ油・片栗粉…適量
板海苔(焼きのり)…1枚	ごはん…200g(泌泉米)
ごはん…200g(泌泉米)	パセリ(乾燥)…少々

作り方（調理時間 約30分）

- ①鶏肉は、Aの調味料で味付け（20分程置く）。
- ②トッピングのキャベツを千切りにする。
- ③レモンは、1/8にカットする。
- ④味噌コチュソースの材料を混ぜ合わせる。
- ⑤鍋に油を入れ①の下味をつけた鶏肉に片栗粉をつけ揚げる。
- ⑥板海苔1枚を1/2カットし、ご飯100gのせ海苔を巻く。同様にもう残りの海苔とご飯で海苔巻きを作る。
- ⑦巻いた海苔巻きをクッキングペーパーなどで巻く。海苔巻きに包丁で切れ目を入れる。
- ⑧開いた切れ目にキャベツを入れ、味噌コチュソースを少し入れる、その上に揚げておいた唐揚げを2個いれる。最後に唐揚げに味噌コチュソースをかける。パセリを散らす。



小松菜しゅうまい

福岡県：廣房 勝江氏



糸田町特産の小松菜を皆さんにおいしく食べて頂けたらと思い、視点を変え作ってみました。皆さんの献立に加えて頂けたら幸いです。



和太鼓ホルモン煮え「たぎり」

奈良県：ぱんぶきんキッチン氏



入賞できるとは思っていませんでしたので、とても嬉しいです！「和太鼓たぎり」のファンなので、料理で応援させて頂けた事にも有難く思います。糸田町の益々のご発展をお祈り申し上げます。